

『我が国の防衛力の抜本的な強化等のために必要な
財源の確保に関する特別措置法案について』

立憲民主党 福田 昭 夫

はじめに

1. 防衛力強化のための増税等の国民の意識について

- (1) 「自らの国は自ら守る」との国民全体の当事者意識を多くの国民にどのようにして共有していただくのか
- (2) 共同通信の全国世論調査によると「首相の説明は不十分」だと言っているが、どう認識しているのか
- (3) 「自らの国は自ら守る」という事は、日本地位協定を公平・平等なものへと改定する考えがあるという事か

2. 国防の基盤である経済力・財政力はあるのか

- (1) 失われた30年をつくったのは、政府の経済・財政運営の失敗だったのではないのか
・ ・ 資料1・2
- (2) 日本が多額の国債があっても財政破綻しないのはどうしてですか
- (3) 令和4年度の貿易収支の赤字が2兆1千728億4千万円となり、経常収支も赤字になる恐れが出てきたが如何か
- (4) 日本銀行は、円の実質為替レートが50年前に戻って、貿易収支の赤字額が所得収支の黒字額を上回るようになって、現在の円安政策を改めませんか
- (5) 経常収支が赤字になれば、国債の発行も容易ではなくなるのではないですか
- (6) 国債が発行できなくなれば、財政破綻となり経済も破綻するのではないですか
- (7) 石橋湛山の「小日本主義」に学んで、防衛費はGDPの1%前後で中身を充実したらどうですか
- (8) 財政再建をするためには、消費税を減税して税制の抜本改革が必要だと思うが如何か
・ ・ 資料3・4・5

3. 同盟国米国は日本をどう見ているのか

- (1) グローバル・トレンド2040におけるバイデン大統領の長期戦略について
- (2) グローバル・トレンド2040における日本の姿について
- (3) グローバル・トレンド2040発表後のバイデン大統領の長期戦略における政策の大転換について

4. 日本は専守防衛を捨てたのか

- (1) 日米は反撃力で連携強化するのか
- (2) 台湾有事があったら連携強化するのか
- (3) 憲法9条は米国がプレゼントしてくれたものなのか
- (4) 国連はこれからも機能するのか
- (5) グローバル・サウスの経済発展をどう見ているのか
- (6) 石橋湛山に学んで遠くを見据えて、日・米・印・インドネシア・中・露の6か国による平和同盟を結んでアジアをはじめ世界平和に貢献する道を選びませんか

おわりに

要求大臣：財務大臣・日銀総裁

政府参考人：財務省・外務省・防衛省・内閣官房